



● オオカマキリ

- ・らんしょうの大きさ: 4 cmほど
- ・場所: 枝やフェンスなど

らんしょうは、小さいなりにずしのような色と形。せい虫は10 cmほどの大きなカマキリ。

※らんしょう…さんらんのときに出すアツがかたまつたもの。細長いたまごがたくさんつまれている。



● コカマキリ

- ・らんしょうの大きさ: 3 cmほど
- ・場所: 木のみき、カベなど

らんしょうは細長く、平たい。せい虫は小さく(6 cmくらい)、前足のつけ根に赤、白、黒の模様がある。



● ハラビロカマキリ

- ・らんしょうの大きさ: 3 cmほど
- ・場所: 木のみき、カベなど

らんしょうは、あつみがあり、中央に白っぽいラインがある。せい虫は、おなかが太く、はねには白い点がある。



● クヌギカメムシ

- ・たまご1つぶの大きさ: 2mmほど
- ・場所: クヌギなどのみき

たまごをつつむゼリーはよう虫のエサになる。せい虫は触覚(しよっかく)が長く、緑色の体には黒い点々がある。



○ ヨコヅナサシガメ

- ・よう虫の大きさ: 1.5 cmほど
- ・場所: サクラなどのみき

頭は細長く、ストローのような口で他のこん虫の体液(たいえき)をすうカメムシのなかま。よう虫は集まって冬をこす。



○ オオミノガ

- ・巣の大きさ: 4 cmほど
- ・場所: 木のえだなど

えだや葉で巣を作るガのよう虫。オスは夏にせい虫となつたとびたつが、メスにははねがなく一生をミノの中ですごす。



○ ゴマダラチョウ

- ・よう虫の大きさ: 3 cmほど
- ・場所: エノキの落葉のうら

体のりょうはしに2本ずつ突起(とつき)があり、開いている方が頭。5月ごろに白と黒のまだらもようのチョウになる。



○ カブトムシ

- ・よう虫の大きさ: 8 cmほど
- ・場所: ふようどの中

よう虫は腐葉土(ふようど)を食べて育ち、12月にはサナギになる直前と同じくらいの大きさになっている。

たいへんそうに見えるけど…

冬のあいだも、ずっと外でくらすこん虫たち。寒くてつらそうに見えるけど、がんじょうな部屋があったり、おいしい食べものにかこまれていたり、みんなといっしょにすごしたり、いろいろなすがた、方法で、あたたかい春が来るのを待っています。

ガスも電気も使わないから、地球にやさしいし、人間よりエコでハイテク??? なんだかうらやましくなるような虫たちの冬ごしです。



*円内の写真は、せい虫 (=大人の虫) です。



● ナミアゲハ

- ・サナギの大きさ：3.5cm
- ・場所：ミカン科の木やそのまわり

夏のサナギは緑と茶色の2色が見られるが、冬は茶色のサナギが多い。上が2またにわかれ、せなかには突起（とつき）が1つある。



● アオスジアゲハ

- ・サナギの大きさ：3cm
- ・場所：クスノキの葉のうらや近くのカベなど

サナギは黄緑色で、黄色い線が通る。せい虫のはねには水色のおびがあり、す早くとびまわる。



● イラガ

- ・マユの大きさ：1.2cmほど
- ・場所：サクラ、ウメのえだなど

マユのからはかたく、表面の模様は1つ1つデザインがちがう。よう虫は7～10月に見られ、するどいとげにはドクがある。



● クロスジフユエダシャク

- ※ 大きさ：2cmほど ※前ばねのつけ根から先まで
- ・場所：林の落葉

12月ごろに見られる小さなガ。林の中を多数とびまわっているのはオス。メスははねが小さくとべない。フユシャクのなかまは多いが、昼に活動するのはこれだけ。



● ウラギンシジミ

- ※ 大きさ：2cmほど ※前ばねのつけ根から先まで
- ・場所：ツバキの葉のうらなど

はねは外がわが銀色（ぎんいろ）で、内がわは茶色く、オスはオレンジ色、メスは白のもようがある。



● クビキリギス

- ・大きさ：6cmほど
- ・場所：ススキの根元など

口べにをぬったようなオレンジ色の口がとくちょうで、草の実などを食べる。春をむかえると「ジー」と高い声でなく。



● ツチイナゴ

- ・大きさ：5～7cm
- ・場所：かれ草のしげみなど

顔にはなみだのような黒いもようがあり、頭からはねの先までうすい黄色の線がある。冬は日当たりの良い場所で見ることが多い。



● ウバタマムシ

- ・大きさ：4cmほど
- ・場所：かれたマツの木など

地味に見えるけれど、体は銅（どう）のようにかがやき、目の中には金色に光る小さなつぶが見える。冬でもせい虫が見られることがある。



● エサキモンキツノカメシ

- ・大きさ：1.3cm
- ・場所：かれ葉の下など

せなかに黄色いハートマークがあるカメシ。春に産卵（さんらん）すると、メスはたまごにおおいかぶさり、アリなどのてきから守る。



● ナミテントウ

- ・大きさ：5～8mm
- ・場所：木のくぼみなど

もっともよく見られるテントウムシで、体のもようは様々。風の当たらない場所に集まって冬をこす。